

こちら
町長室八王子市、小田原市と
姉妹都市盟約を
締結しました！寄居町長
花輪利一郎

10月1日、寄居町では初めてとなる姉妹都市の盟約を、八王子市、小田原市と締結しました。両市との関係は、北条の縁から、「元八王子北條氏照まつり」や「小田原北條五代祭り」、そして寄居町の「北條まつり」に、多くの方々が武者隊などで、お互いに参加しあうなど、長い間、市民・町民レベルで、主に観光を中心とした交流を図ってきました。



▲八王子織物

今回の姉妹都市盟約の締結は、来年市制100周年を迎える八王子市の申し入れにより実現したもので、三都市間で、同時に盟約を締結するという形態は、大変珍しいケースでもあります。三都市は、ご承知のとおり戦国時代から、北条氏の縁から関係が深く、今回の盟約の締結は、三都市を結ぶ交通の要である圏央道が整備され、新たな都市間交流を進めていく好機を捉えた非常に良いタイミングであると考えております。姉妹都市盟約の締結を契機に、戦国時代から続く、北条兄弟の絆をより深め、互いに連携し、より一層の親交を深めることで、お互いの魅力を高め、三都市のさらなる発展につなげていければと考えております。小田原城主の氏政、八王子城主の氏照、鉢形城主の氏邦たち兄弟は、戦国の世にあっても争うことなく手を携え、それぞれのまちの発展に尽くしたと言われております。今後は、八王子市および小田原市の情報も積極的に発信していきますので、町民の皆さんも、機会があれば、ぜひ、両市を訪れていただきたいと思っております。もちろん、両市民の皆さんに、寄居町のこともっと知っていただき、興味を持ち、訪れていただくよう積極的なPRを行っていきたく考えています。



▲小田原の寄せ木

今回の姉妹都市盟約の締結は、来年市制100周年を迎える八王子市の申し入れにより実現したもので、三都市間で、同時に盟約を締結するという形態は、大変珍

町民課からののお知らせ

【特定健診やがん検診等の
申し込みはお済みですか？】

町では9月～11月にかけて、国民健康保険特定健康診査・後期高齢者医療健康診査・健康診査・がん検診等を町内の各会場で実施しています。また、12月から平成29年1月の間は、深谷寄居医師会メディカルセンターを会場に、引き続き実施します。

予約方法は深谷寄居医師会メディカルセンターの「予約専用ダイヤル(☎048・570・6111)」へ電話予約となります。健診内容など詳細は、本誌8月号をご覧ください。

また、寄居町国民健康保険および後期高齢者医療制度加入者を対象に、人間ドック・脳ドックの検診料の助成も実施していますので、ぜひご活用いただき、ご自身の、また、ご家族の健康管理にお役立てください。

【ジェネリック医薬品を
上手に活用しましょう！】

ジェネリック医薬品とは、新薬の特許期間などが過ぎた後に他のメーカーから製造販売される同じ有効成分・同じ効き目の医薬品です。開発コストが少ないため、先発医薬品よりも安価な場合が多く、保険医療費の抑制効果も期待されています。医療機関で出された処方せんをもとに薬局で受け取る薬は、患者自身が医師や薬剤師と相談のうえで、先発医薬品かジェネリック医薬品かを選ぶことができます。ジェネリック医薬品を正しく理解して、上手に活用しましょう。

【ジェネリック医薬品利用差額通知】をお送りします

町の国民健康保険は、急速に進む高齢化や医療技術の高度化等に伴う医療費の伸びなどによって、近年厳しい財政状況が続いています。このような状況を改善するために、町では「健康づくりのまち」を宣言し、皆さんの健康づくりや医療費の適正化を進めています。

生活習慣病の薬を服用している方の中で、ジェネリック医薬品に切り替えた場合、自己負担額が一定額以上安くなると思われる方に対して「ジェネリック医薬品利用差額通知」をお送りします。

なお、ジェネリック医薬品への切り替えにより、皆さんの自己負担額が削減できると同時に、町の国民健康保険が負担する医療費(調剤費)が削減できます。町の国保財政の健全化に向けたこのような取り組みに対し、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

■問い合わせ

町民課
(☎581・2121内線111～115)

みんな健康！
元気・いきいき寄居町！

第7回 見ます・聴きます・話します！ 訪問事業開催

チェアスキーのシート部分を持つ杉原氏(左)と町長



株式会社RDSはデザイン、クレイモデル、ドライカーボン、3Dプリンタ、5軸加工、コンサルティングといった事業を手掛けています。8月22日の事業当日は、専務取締役の杉原行里様に会社概要の説明から意見交換、施設見学と対応していただきました。

■行政をデザインする

杉原さんの言葉で、「デザインはコミュニケーションだ」とするものがありました。人に訴えかける上で最も効果的なのは視覚です。受け手の感情を考えてモノを設計するという発想は、行政にも活かせるアイデアだと思います。町民全ての人の心に響くサービスをいかに提供することができるか。難しい課題を突きつけられた気がしました。

その他、観光、産業資源の話や町の価値を上げる方策など、若い経営者らしい鋭い切り口から、すばらしい提言がとめどなく溢れてきます。また、為末大氏とも親交があることから、プータンオリンピック選手の事前合宿地誘致に関する展望も話題に上がります。

とても新鮮で、そして斬新です。公務員の発想の外側とでも言うのでしょうか、型にはまらないその言葉に、不思議と違和感を覚えることはありませんでした。現役で活躍されている方の意見を生で聴かせていただくこの事業ですが、今回はこれまでと違うものをたくさんいただくことができました。自分の若いころの姿を彼に重ねつつ、心地よい達成感に満たされながら株式会社RDSを後にしました。

◆会社を継ぐ予定ではありませんでした

中学を卒業後はイギリスの全寮制高校、大学と進みました。世界的なデザイナーを目指していましたが卒業後もしばらくは海外で生活するつもりでした。しかし、2008年、アメリカ合衆国の投資銀行であるリーマン・ブラザーズが破綻したことに端を発した世界的な金融危機、いわゆるリーマンショックが起きました。当社も多分にもれず大きな影響を受け、会社の存亡に関わる危機的状況に陥る事態になったことから、会社を立て直すべく入社を決意しました。

◆ウィークポイントは全部捨てました

会社の生き残りのために、我が社の良い所と悪い所を洗い出して長所を伸ばしていく道を選びました。自分たちの技術が活かされる分野を探すため、失敗を恐れずにあらゆる業種にチャレンジしました。おかげさまで現在、業績は回復し、それは当時蒔いたシードが、点と点が繋がり、結実してきているのだと思います。

◆マイナスをゼロではなくプラスへ

我が社が得意とするのはデザインだけではありません。我々はハンディキャップを機能の欠損ではなく、選択できるあらたな余白として考えており、このコンセプトを基にドライカーボンを駆使した超軽量、高強度の松葉杖を作製しました。これは、届ける相手をしっかり見定めて取り組んだ製品で、2013年にはグッドデザイン金賞を受賞しました。また、障害者スポーツへの技術提供も行っており、2014年のソチパラリンピックのチェアスキー、森井大輝選手が使用する用具のオフィシャルサプライヤーを始め、2016年よりチェアスキーの夏目堅司選手の雇用も始めました。障害者スポーツは、先端テクノロジーを駆使した人体の拡張を表現する最高の場と捉えており、その技術は、2020年東京パラリンピックを始め、超高齢化社会を迎えた日本にとって、大きな変革を付与すると思います。

〔訪問先企業データ〕名称・株式会社RDS(寄居町大字赤浜1860)

創業・昭和58年

従業員・30人

業務内容・デザイン

CFRP形成、

クレイモデル

精密機械加工、

3Dプリンタ、

モーションキャプチャー